



Nanpuh Medi-co

特集：南風病院 高齢者・健康長寿医療センター

南風病院では健康寿命延伸を目的に、予防医療の拠点施設として「口コモ・フレイル・生活習慣病外来」、「もの忘れ外来」、「頭痛外来」、「脊椎仙腸関節外来」などを備えた、「高齢者・健康長寿医療センター」を2022年1月11日に開設致しました。

老年内科(口コモ・フレイル・生活習慣病外来)

脳神経外科(もの忘れ外来、頭痛外来)

整形外科(脊椎仙腸関節外来)

センター長には高齢者医療の第一人者である東京大学名誉教授大内尉義先生をお迎えし、先生のご指導のもと、質の高い高齢者医療を提供します。

今回、老年内科を新設して「口コモ・フレイル・生活習慣病外来」として診療しています。フレイルとは「加齢により心身が老い衰えた状態」のことです。要介護に移行するリスクが高い一方、適切なケアによって健常レベルへの回復が可能とされる状態です。

南風病院 高齢者・健康長寿医療センターでは、特にフレイル対策に力を入れており、栄養指導、筋力トレーニングなどのフレイル対策プログラムを用意しています。

もちろん、脳神経外科の「もの忘れ外来」「頭痛外来」、整形外科の「脊椎仙腸関節外来」なども従来通り診療しています。

■ センター長のご紹介



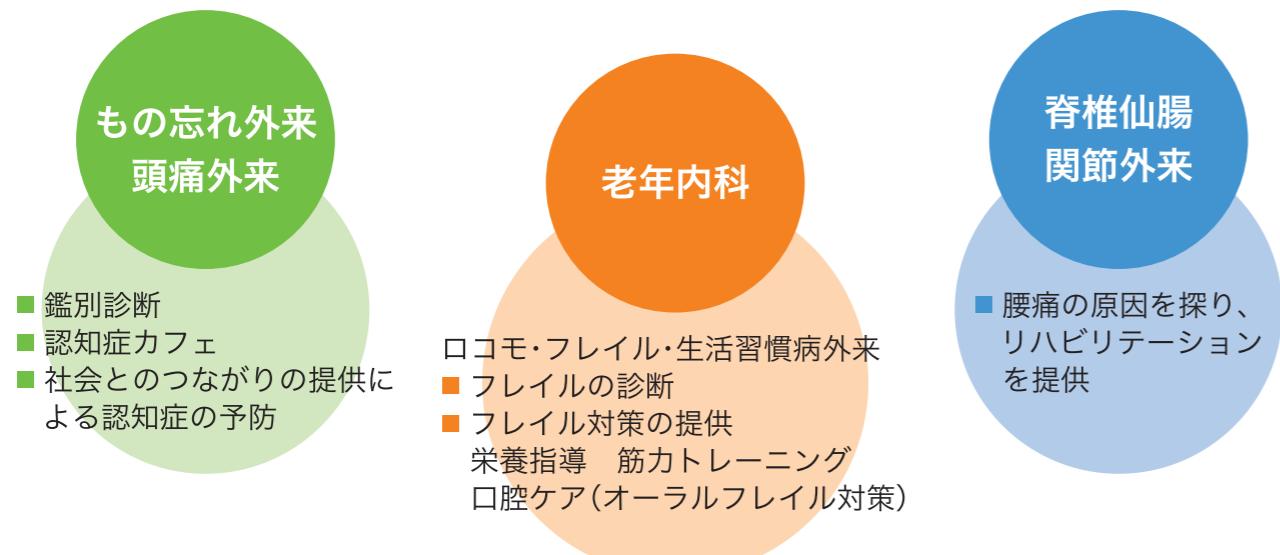
老年内科

大内 尉義 *Ouchi Yasuyoshi*

昭和48年、東京大学医学部卒業、内科研修の後、東京大学第3内科に入局し循環器病学を専攻。昭和60年米国テネシー大学生理学教室に留学し、高血圧の基礎的研究に従事。翌年帰国後、東京大学老年病学講師、次いで平成7年同教授に就任。老年医学、循環器病学、骨代謝学、認知症学の診療、研究、教育にあたった。平成25年、国家公務員共済連合会虎の門病院院長を経て、現在同病院顧問。平成17年～27年日本老年医学会理事長、平成19年～25年日本老年学会理事長を勤めた。

予防医療の拠点施設として健康寿命の延伸をめざします。

■高齢者・健康長寿医療センターの3つの診療科



老年内科

今回新設された老年内科について横山 俊一副センター長にインタビューを行いました。

●今回新設された老年内科とは？

老年内科は高齢者を従来の診療科別の縦割りの体制ではなく、診療科を横につなげて総合的に診療する診療科です。その人の健康に責任を持つ司令塔のような役割を持つイメージです。

ただし、南風病院高齢者・健康長寿医療センター老年内科は「口コモ・フレイル・生活習慣病外来」として診療し、予防医療、特にフレイル対策に特化しています。患者様には、従来通りかかりつけの先生からの治療を受けていただきながら、必要な場合フレイル対策プログラム(栄養指導・筋力トレーニング)を当センターで提供いたします。



各フロアのご紹介

南風病院
高齢者・健康長寿医療センター
〒892-0852 鹿児島市下竜尾町6番18号
TEL:099-226-9111(南風病院代表)



2F

- ▶口コモ・フレイル・生活習慣病外来
- ▶もの忘れ外来 ▶頭痛外来
- ▶トレーニング室
- ▶多目的室(認知症カフェ)
南風病院1Fとの連絡通路



■多目的室

認知症の方やご家族が集い、コミュニケーションと情報交換の場となる「認知症カフェ」としても利用します。



■トレーニング室

個別に用意したプログラムをもとに、民間のスポーツジムから派遣されたトレーナーと当院スタッフのサポートを受けながら有酸素運動と筋力トレーニング、ストレッチを実施します。



3F

- ▶九州腰痛・仙腸関節センター
- ▶脊椎仙腸関節外来
- ▶リハビリテーション室



●どのような症状でお悩みの方に受診をお勧めしていますか？

フレイルとは「加齢により心身が老い衰えた状態」のことです。下記のような心身の衰えを示唆する症状のある方に「口コモ・フレイル・生活習慣病外来(老年内科)」のご受診をお勧めします。

- 歩くのが遅くなった。
- 筋力が低下した。
- 6ヶ月で2kg以上の体重減少があった。
- わけもなく疲れたような感じがする。
- 以前は楽にできていたことが今は億劫に感じられる。など

●治療の流れについて教えて下さい。

老年内科でも初診時には医師の診断を受けていただきます。問診、身長・体重測定、握力測定、歩行速度測定、インボディ(心電図のような機械で筋肉量などを測定します)などの検査でフレイル、サルコペニア(筋肉減少症)かどうかの診断を行います。

必要と判断されますと、筋力トレーニング、栄養指導、口腔ケアなどをご提案します。

筋力トレーニングには、1つはマシーンを使ったトレーニング室でのトレーニングがあります。また、体力テスト(筋力や運動能力を調べます)の結果に基づき、その人に最適な自宅で行うためのプログラムも作成します。



インボディ測定器

●今後の展望について教えて下さい。

老年内科のフレイル対策はもちろんですが、従来通り脳神経外科の「もの忘れ外来」「頭痛外来」、整形外科の「脊椎仙腸関節外来」などにも引き続き注力します。

健康寿命延伸を妨げる要因は「フレイル」「認知症」「関節疾患」などとされています。これらの病態に総合的に取り組み、高齢者のための施設として地域に必要とされるよう努めてまいります。

新たに開設した「老年内科」は予防医療、特にフレイル対策に重点的に取り組みます。患者様には、かかりつけの先生に従来通り通院していただきながら、いわば二人主治医体制のような形で予防医療を提供したいと考えています。

脊椎仙腸関節外来～九州腰痛・仙腸関節センター～

九州腰痛・腰痛仙腸関節センターは高齢者・健康長寿医療センター開設に伴い、南風病院5Fから当センター3Fへ移転しました。

九州腰痛・仙腸関節センターでは、脊椎仙腸関節外来にて腰痛を総合的に評価し、患者様の状態に応じた適切な治療を行っております。

腰痛の主な原因は脊椎と骨盤です。一般的に見落とされやすい骨盤由来の疼痛も含めて、脊椎仙腸関節外来では脊椎や骨盤由来の疼痛・異常知覚・筋力低下に対して原因を追究し、医師、理学療法士を中心病態に応じた保存的治療(ブロック療法、骨盤の理学療法など)を提供致します。



九州腰痛・仙腸関節センター
センター長
兼 南風病院 整形外科 部長

古賀 公明

- MRIやレントゲンでは異常は認めないが、腰痛・下肢痛・しびれ感や股関節痛がある。
- 根性坐骨神経痛、腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊柱管狭窄症と診断されて、治療を行っているが腰痛・下肢痛・しびれ感などの症状が改善しない。
- 脊椎の手術を受けたが、腰痛・下肢痛・しびれ感などの症状が改善しない。
- 歩行で腰痛・下肢痛・しびれ感などの症状(間欠性跛行)が現れる。
- 出産後から腰痛・股関節痛の症状が現れた。
- 椅子に座ると臀部痛や腰痛がひどくなる。
- 仰臥位で腰痛がひどくなる。
- 原因不明の腰痛・下肢痛・しびれ感がある。



九州腰痛・仙腸関節センター
理学療法士
主任

新 丈司

原因不明の腰痛でお困りの方、長年治療されても症状が改善しない方、手術は可能な限り受けたくない方、上記のような症状でお困りの方がいらっしゃいましたら是非御相談ください。

地域の皆様に腰痛に関する新しい理論と治療実践を提供し、健康寿命の延伸に貢献致します。



公益社団法人 鹿児島共済会 **南風病院**

〒892-8512 鹿児島市長田町14番3号 TEL 099-226-9111
<http://www.nanpuh.or.jp>

- 医療連携・相談支援室 TEL:099-805-2732
FAX:0120-707-142
- 外来予約係 TEL:099-805-2259
- 画像診断センター TEL:0120-332-411



在宅ケアサポート みなみ風

- 看護小規模多機能施設みなみ風
- 訪問看護ステーションみなみ風
- 療養通所介護事業所みなみ風
- 居宅介護支援事業所みなみ風
〒892-0852
鹿児島市下竜尾町10番3号
TEL:099-223-3170



高齢者・健康長寿医療センター

〒892-0852
鹿児島市下竜尾町6番18号
TEL:099-226-9111
(南風病院代表)

